

企業家研究フォーラム

2015年度年次大会 プログラム

主 催：企業家研究フォーラム、大阪大学大学院経済学研究科

7月 18日 (土)

13:00 ~	受 付 開 始(3階)
13:30 ~ 16:50	自由論題報告
17:00 ~ 18:10	総 会
18:20 ~ 19:40	懇 親 会

7月 19日 (日)

9:10 ~	受 付 開 始(3階)
9:40 ~ 11:50	自由論題報告
13:15 ~ 16:45	共通論題報告

会場：大阪大学中之島センター

〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53 TEL:06-6444-2100 / FAX:06-6444-2338

会場詳細・アクセス

<http://www.onc.osaka-u.ac.jp/>

会員の皆様へのお願い

- 年次大会・懇親会への参加費につきましては、事前のお振込み（振込期限：7月3日）をお願いしております。特に懇親会につきましては、当日参加は受け付けませんので、予めご了承ください。

◇ 大会参加費 2,000円（要旨集代含む） ◇ 懇親会参加費 5,000円

- プログラムは、諸般の事情により変更の可能性があります。予めご了承ください。
- 当日は、まず、受付（18日・19日ともに、3階301）にお越しください。
受付にて、要旨集、名札等をお渡しいたします。受付をすませた後、各会場へ移動してください。
- 2階カフェテリアは18日（土）、19日（日）とも営業しています。昼食等にご利用ください。
- 会場内での飲食、喫煙は禁止いたします。

7月18日(土)

於：大阪大学中之島センター

第1会場 (3階 304)		(司会) 上智大学 山田 幸三
13:30~14:15	社内ベンチャーの自律性の働きとエグジット過程	大阪市立大学(院) 植田 祐紀
14:20~15:05	起業過程における「強い紐帯」の役割	長崎大学 林 徹
15:10~15:55	地域水産業におけるBG企業の発生とエフェクチュエーション	東京経済大学 山本 聡
		(司会) 大阪大学 宮本 又郎
16:05~16:50	地域社会における企業家の育成とガバナンス	甲南大学 加護野 忠男

第2会場 (3階 302)		(司会) 静岡文化芸術大学 首根 秀一
13:30~14:15	後継者の配置と自律性-長寿ファミリー企業の事業承継事例-	日本経済大学 落合 康裕
14:20~15:05	中小企業の非親族承継における個人保証の効用の研究	嘉悦大学(院) 津島 晃一
15:10~15:55	企業家たちの次世代塾-大阪倶楽部100余年	大阪大学(院) 坂根 直樹

第3会場 (3階 303)		(司会) 東京大学 粕谷 誠
13:30~14:15	大原孫三郎と原澄治にみる経営者の社会的責任-明治末期・大正期-	早稲田大学 原 武治
14:20~15:05	池田成彬の経営観と三井「改革」の実相	学習院大学 堀 峰生
15:10~15:55	戦間期福井の絹織物企業-勝山機業兄弟合資会社の経験	東京大学(院) 宝利 ひとみ

第1会場 (3階 304)			
17:00~18:10		総 会	
報告事項	一般会務報告 学会制度委員会報告	「企業家研究フォーラム賞」事業報告 「講座・企業家学」委員会報告	編集委員会報告 その他
審議事項	2014年度決算(案) 会則の変更	2015年度予算(案) 役員の改選	その他
9階 交流サロン			
18:20~19:40		懇 親 会	

~ご案内~

- *アフターセッション用に、別途会場をご用意いたしております。ご利用ください。
- *7月18日の懇親会は、9階の交流サロンで開催いたします。
- *7月19日共通論題報告の会場は、10階佐治敬三メモリアルホールです。

※発表者の順番・会場・スケジュール等は変更する可能性もありますので、予めご了承ください。

7月19日(日)

於：大阪大学中之島センター

第1会場 (3階 304)		(司会) 甲南大学 加護野 忠男
9:40~10:10	松下幸之助と稲盛和夫に学ぶ	パナソニック株式会社 徳永 幸彦
10:15~10:45	商業教育のなかの倫理教育-神戸高等商業学校の事例を中心に-	高崎経済大学 井上 真由美
11:05~11:50	阪和興業と創業者・北 二郎	大阪大学 宮本 又郎

第2会場 (3階 302)		(司会) 神戸大学 原 拓志
9:40~10:10	『孫子』の実践-タビオ創業者、越智直正の場合-	タビオ株式会社 平野 満義
10:15~11:00	神戸港における港湾インフラ整備の展開と利用実態-戦間期を中心に-	立教大学 三鍋 太朗
11:05~11:50	地場産業を維持する仕組み~神戸洋菓子産業の事例より	大手前大学 森元 伸枝

11:50~13:15	昼 休 み
-------------	-------

10階 佐治敬三メモリアルホール

共 通 論 題

13:15~16:45 「地域名門企業の経営革新:セーレン(株)を中心として」

名門企業の変革は難しい。名門が、名門であるゆえんは、事業目的とそれを実現する手段が明確に設定され、それがある種の「型」となっている点にある。さらに多くの場合、長い歴史のなかで、固有の企業文化が形成されている。ところが、一旦、目的=手段関係が固定されると、人々の認識は制約され、他の目的=手段関係では情報となり得ることが、耳に入らない可能性がある。また、ある企業文化にもとづく価値観が絶対的になったとき、結果を度外視して、行為そのものが絶対的価値を持つことがあり得る。その結果、組織内部の人々にとっては常識であり、合理的と見なされることが、外部から見れば奇妙であり、非合理的であるという現象が生じる。しかし内部の人々は、ある一定の目的や価値観にもとづいて誠実に行動しているため、その枠内においては目的を達成でき、行動様式を自ら変える必要を感じない。かくして名門企業は、過去の成功体験にもとづいて形成された「型」と文化を固守するに至り、変革を忌避するようになる。そしてその傾向は、仕切られた競争空間で成長してきた地域名門企業に、より顕著に現れるだろう。

このシンポジウムでは、絹織物の精練業に端を発し、125年にわたり福井県に拠点を置き続けてきた総合繊維メーカーであるセーレン株式会社を中心的な事例として、地域名門企業の経営革新と企業家との関係について考える。同社の企業変革の歴史を通して、企業が外部環境の変化に応じて、自らを変革し続けるために必要となる諸要素を探っていききたい。

①問題提起 「『内なるアウトサイダー』をもとめて」	東京大学教授	中村 尚史
②基調報告 「セーレンの現在」	セーレン(株)代表取締役会長	川田 達男
③報 告 「名門企業の形成と「発展」 -福井県精練加工からセーレンへ-	神戸大学教授	橋野 知子
「経営改革が導いた技術革新 -新技術ビスコテックスの事業化過程-	南山大学准教授	中島 裕喜
「生産システムの戦略適応 -「整流生産管理」の導入過程-	香川大学准教授	青木 宏之
④コメント 「経営学の立場から」	福井県立大学教授	山路 直人
⑤パネルディスカッション		
司会	大阪大学名誉教授	宮本 又郎

●大阪大学中之島センター<<http://www.onc.osaka-u.ac.jp/>>

〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53 TEL:06-6444-2100 / FAX:06-6444-2338



<交通アクセス>

★電車によるアクセス

- 京阪中之島線「中之島駅」6番出口より 徒歩約5分
- 京阪中之島線「渡辺橋駅」1番出口より 徒歩約5分
- 阪神本線「福島駅」より 徒歩約9分
- JR東西線「新福島駅」より 徒歩約9分
- JR環状線「福島駅」より 徒歩約12分
- 地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」4番出口より 徒歩約10分
- 地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」7番または4番出口より 徒歩約16分

★バスによるアクセス

- 「JR大阪駅前バスターミナル」から市バス（53系統 船津橋行「中之島四丁目」下車 徒歩約1分）
- （75系統 なんば行「田蓑橋」下車 徒歩約2分）
- 北港バス（中之島ループバス ふらら）
- 「大阪大学中之島センター前」下車 徒歩約1分
- ※淀屋橋発（土佐堀通/住友ビル前）

☆企業家研究フォーラム事務局☆

〒541-0053 大阪市中央区本町 1-4-5 大阪産業創造館 B1階 大阪企業家ミュージアム内
TEL 06-4964-7601 / FAX 06-6264-6011 / E-mail : museum4@osaka.cci.or.jp